



平和の波
PEACE WAVE
FRIEDENSWELLE
VAGUE DE PAIX
OLA DE PAZ
ВОЛНА ЗА МИР
和平的浪潮
موجة السلام

Peace Wave News

Vol. 3, 2020 年 8 月 6 日

広島・長崎75年の8月6日8時15分、
「平和の波」行動開始

8月6日から9日、草の根の行動が
世界をめぐる

これまでに世界 19 カ国、500 カ所を超える平和の波行動の計画が寄せられていますが、被爆 75 年となる 8 月 6 日~9 日には、核兵器廃絶を共通目標とする行事・行動が、これをはるかに上回る数で、世界中でおこなわれることでしょう。そして共通の行動形態として、核兵器廃絶を求めるヒバクシャ国際署名が呼びかけられます。このヒバクシャ国際署名は [2020 年 IPB ショーン・マクブライド平和賞](#) を受賞しました。ヒバクシャ署名はオンラインでもでき、署名用紙をダウンロードすることもできます。みなさんの平和の行動の結果を、写真、映像などと一緒に antiatom@topaz.plala.or.jp まで送ってください。

日本では、300 を超える場所で、8 月 6 日午前 8:15、黙とうとともに平和の波が開始されます。ヒバクシャ署名、スタンディング、寺院・教会で鐘を鳴らす、原爆写真展、夕べの集会、灯ろう流し、折り鶴作成など多くの行動が予定されています。行動計画の全体は [ここ](#)。(日本語)

広島・長崎市の平和記念式典：8 月 6 日と 9 日に中継されます

広島市平和記念式典は、8 月 6 日日本時間 8 時から 8 時 50 分まで、ライブ中継されます(注：終了)。長崎市平和記念式典は、8 月 9 日 10 時 45 分から 11 時 45 分まで、インターネットで [ライブ中継](#) されます。

世界で計画されている平和の波行動 (続き)

Peace Wave News [Vol.1](#) と [Vol.2](#) にも世界の行動計画が掲載されています。日本語は [こちら](#)。

日本

原水爆禁止 2020 年世界大会・広島デー集会 (オンライン) : 8 月 6 日 10:00-12:30 (終了)

原水爆禁止 2020 世界大会・長崎デー集会 (オンライン) : 8 月 9 日 10:00-12:30

Zoom 申し込みは[こちら](#)。YouTube ライブ視聴は[こちら](#)。

原水爆禁止 2020 年世界大会には、中満泉国連軍縮担当上級代表、ベアトリス・フィン (ICAN)、トーマス・ハイノッチ (オーストリア軍縮大使)、サイエド・ハスリン・アイディド (マレーシア国連大使)、広島・長崎市長、フィリップ・ジェニングズ (IPB)、ケイト・ハドソン (CND) など多くの重要なスピーカーが参加します。(通訳はライブ参加者のみ聞けます)

URL: http://www.antiatom.org/english/world_conference/



オーストラリア

フリーマントル市（平和首長会議加盟）：平和公園でヒロシマ・ナガサキ 75 周年記念行事

平和首長会議に加盟するフリーマントル市は、8 月 6 日 7 時と、8 月 9 日 9 時 45 分（原爆投下の時間）より、平和公園（ビーコンズフィールドのディック・ローレンス・リザーブ）にて、広島・長崎原爆投下 75 年を記念し、犠牲者を追悼して核兵器廃絶と平和への決意を込めて銀杏の木の植樹を行います。

連絡先：： Mayors for Peace - Fremantle mayorsforpeace@fremantle.wa.gov.au

URLs:

<https://www.fremantle.wa.gov.au/whats-on/peace-park-75th-anniversary-%E2%80%93-93-hiroshima-nagasaki>

インド

シティ・モンテソーリ・スクール：平和の波を支持する国際会議：8 月 5 日午後 3:30 開始

8 月 6 日ー9 日に原爆投下 75 年を期して行われる「平和の波」を支持する草の根の行動を支持して、オンライン国際ウェビナーと記者会見を開催。（昨年の記念行事：

http://www.cmseducation.org/news/session_2019_2020/august/06_unitymarch.html）

連絡先： Shishir Srivastava shishir.srivastava@cmseducation.org

インド平和軍縮環境保護研究所

コロナ感染拡大により、大衆的教育行事としてウェビナー形式で原爆写真展を実施。

連絡先：： Balkrishna Kurvey bkurvey@yahoo.com

スウェーデン

ヨーテボリ：広島追憶の日「私たちは忘れない」8月6日 10時および 18:30-20:15

- 1) 10時から：ヨーテボリ港にある「核軍縮の女神」平和像にて。折り鶴のレイで像を飾る
- 2) 18:30-20:15：市の中心部で恒例の記念行事：スピーチ、ジャズ演奏など。ヨーテボリ市が ICAN 都市アピールに参加するスウェーデン最初の都市となるよう要請。20:15 にバスチャーチ教会が特別に鐘を鳴らす。3) 21 時よりヨーテボリ中心部を通る運河のライオン階段でキャンドルライト集会。4) 行事の国際的側面、特に「平和の波」とのつながりを強調する。

URL: <http://www.fredsinitiativ.se/fred-aktuellt.html>

連絡先：：Tomas Magnusson gosta.tomas@gmail.com

平和の折り鶴：8月9日まで実施中（オンライン）

「平和の折り鶴」キャンペーンに参加して平和と核兵器反対のために立ち上がろう。折り鶴（平和のシンボル）の作り方と、核兵器反対の意志をオンラインで表明する方法を説明します。スウェーデン平和仲裁協会、IPPNW スウェーデン支部、WILPF スウェーデン支部、スウェーデン国連協会の共催。詳細は: www.svenskafreds.se/taggaentran

連絡先：：Agnes Hellström, SPAS agnes.hellstrom@svenskafreds.se

URL: <https://www.facebook.com/127063960674693/posts/3191268917587500?sfns=mo>

イギリス

エルダーズ：広島・長崎を追悼して#PeaceCranes2020: 8月6日午前8時から8月10日午前10時

エルダーズは世界の指導者、政策決定者、各国の人々に8月6日、9日に連帯を込めた黙想の時を持つよう呼びかけています。折り鶴を折り、希望のメッセージを書きましょう。サダコの物語と折り鶴の折り方、折り鶴の意味などが分かる映像を共有します。作った折り鶴をソーシャルメディアに#PeaceCrane2020 のハッシュタグをつけて投稿してください。エルダーはネルソン・マンデラが呼びかけた、元世界の指導者たちの独立した集まりで、平和、正義、人権、核兵器廃絶のために活動しています。

連絡先：：Monika Radojevic monika.radojevic@theelders.org

URL: <https://www.theelders.org/programmes/remembering-hiroshima-and-nagasaki>

マンチェスター地域 CND の 8/6-8/9 のローカルイベント：

広島デー（8月6日）：

サダルワース：メソヂスト教会で 6:30 より夕刻の集会。ソーシャルメディアへの投稿と組み合わせる。

リトルバラ：午後 8 時より平和のバナーを掲げ沈黙の集会。ホリングワース湖に花束を流す。

マンチェスター：マンチェスター市は平和首長会議の[記念ウェブサイト](#)を創設。折り鶴づくりのワークショップ、市長のメッセージ、帝国戦争博物館の特別プロジェクトへのリンクも。

8月8日：

マーブル : 11.30am - 1pm 沈黙の集会と CND の 75 周年ポスターを掲げて各地への訪問。

ボルトン : 12pm - 12.30pm 市議会前広場の記念碑で CND、戦争ストップ連合の集会。

8 月 9 日 (ナガサキデー)

グロッツプ : 11:02 から 11:30 にノーフォーク広場で集会。参加者のメッセージをボードに貼る。

マーブル市平和を目指すストックポートの会 : 広島・長崎を忘れない : 8 月 8 日 11:30 より

バナー、プラカード、平和の絵、折り鶴を持って、マーケット・ストリートからメモリアルパークまで間隔をとったデモ行進。

連絡先 : Sheila Townsend sheilatownsend@btinternet.com

カナダ

75 Years **Canada, Nuclear Weapons & The UN Ban Treaty**



Peace activist and historian
Phyllis Creighton



AUGUST 6TH
7pm - 8:30



Anti-nuclear activist & Nobel Peace Prize recipient
Setsuko Thurlow

カナダ、核兵器と国連核兵器禁止条約 : トロント広島・長崎デー連合、8 月 6 日 7:00-8:30pm

サーロー節子とともに広島・長崎原爆投下 75 周年を思い起こす平和のオンラインイベント。

<https://www.eventbrite.com/e/75-years-canada-nuclear-weapons-the-un-ban-treaty-tickets-108760389252> or www.hiroshimadaycoalition.ca

キングストン広島デー、8 月 6 日午後 7 時

キングストン広島デー連合は被爆 75 周年を記念する集会を過去 40 年近く行ってきましたが、今年は例年より短縮して行います。マクバリー公園で 7 時開始。参加者はマスクを着用し間隔をあけて集ってください。音楽、黙想とみんなが参加できる行動を計画中。

連絡先 : Susanne Cliff-Jüngling 613-536-7153

ケープ・ブレトン平和の希求とケープ・ブレトン自治体が共催する記念行事 : 8 月 6 日午前 8 時

8 月 6 日午前 8 時より、シドニーにある議会の建物の外では半旗が掲げられ、8 月 6 日を「広島記念日」とする宣言文が読み上げられる。ケープ・ブレトン平和の希求の短い声明文発表のあと、黙とうと討論、感想交流。

連絡先： Sean Howard, PeaceQuest Cape Breton: Sean_Howard@cbu.ca

アメリカ

#stillhere（#まだここに）:75年共有された核の遺産：8/6-9 全国オンラインイベントと多くの地域イベント

今週木曜日・日曜日にアメリカが広島と長崎に原爆を投下してから 75 年となります。ヒバクシャとその後の核実験・核開発の犠牲者はまだ生きています。またこれらの兵器もいまだに存在しています。あなたも核兵器が二度と使われない世界をつくる努力の一翼を担ってください。

8月6日、9日にあらゆる核の脅威に対抗するためのオンラインイベントに参加しましょう。イベントではこれらの運動を担う宗教者や若い活動家が話します。イベントリンクを友人に共有し、ヒロシマ・ナガサキから 75 年たった今もまだ核兵器が存在しているということ、そして世界からその廃絶を願っているヒバクシャもまた私たちとともにいるということを知らせてください。

- #stillhere というハッシュタグを SNS で拡散してください
- 友人や家族にオンラインイベントに参加するよう誘ってください
- あなたの SNS のプロフィール写真に 75 年をアピールするフレームを加えてください。
- 8月6日と9日のオンラインイベントをスケジュールに加えてください

核の被害者の声を聞き、核兵器が二度と使われない世界をつくるために力を合わせましょう。

連絡先： info@hiroshimanagasaki75.org

ヒロシマ・ナガサキ 75 年：ペイソン公園、8月8日 ポートランド（メイン州）

メイン州のピースアクション、ベテランズフォーピース、パクスクリスティ・WILPF アメリカ支部、ピースウォークスが主催する行事。日本原水協から提供された写真を公園に展示します。ヨハネパウロ 2 世が広島を訪れた際の言葉を読み上げ、ヒバクシャ国際署名を集めます。核廃絶を訴え、#nuclearban #ClimateForPeace #PeaceForClimate #2020PeaceWave などのハッシュタグを使ってアピールします。

連絡先: Martha Spiess info@peaceactionme.org URS: [www.https://peaceactionme.org](https://peaceactionme.org)

グローバルピースチャレンジ 2020:

ホームページやフェイスブック、月間ニュースの中で「平和の波」行動を紹介し、地域の平和活動家に参加をよびかけます。グローバルピースチャレンジ 2020 は地域と世界の平和イベントを一年通して特集するものです。世界中の平和をめざす人々を結集し、私たちの経験を SNS でシェアすることで、平和へのメッセージは何百万人もの人々に届きます。人種、宗教や国籍にかかわらず何百万人の人々が平和をもとめれば、その声は届きます。グローバルピースチャレンジ 2020 は 2020 年という記念の年に行われる平和のための行動を励まし、促進し記録するための平和活動家によるオンラインコミュニティです。この行動の目的は、人々が個人的にもしくはメディアや SNS などを通して日常で出会う様々な否定、暴力を打ち消すための前向きな行動を提供するものです。メンバーは、ヒロシマ・ナガサキ被爆 75 年を記念する「戦争を乗り越えた世界」の 8 月 6 日から 9 日のイベントに参加します。（次の 2 件もピースチャレンジの企画）

平和と正義センター：希望の歌：ヒロシマ・ナガサキを忘れない in バーモント州バーリントン
2020 年 8 月 6 日午後 6 時～9 時

連絡先: Rachel Seigel rachelfrida@gmail.com URL: <https://www.pjcv.org/>

平和への写真, カリフォルニア州フレモント by トレイシー・サルガ

それぞれの人々にとっての平和をキャプションした写真を撮ってもらい、Peace Wave、Global Peace Challenge 2020 にタグ付けしてもらいます。

連絡先: Tracy Sarga, Its1_4_me@yahoo.com

ニューヨーク州ピースアクション主導のイベント:

サウスカントリー平和グループによる第38回世界平和祈念式&ヒロシマから75年の平和を願う追悼式, ベルポートベイにて8月6日午後6時半午後6時45分から沈黙の行進ののち、ベルポートベイにて詩や音楽を含めた核兵器廃絶のための様々なプログラムを開きます。参加者は白い服(追悼の意をあらわす色)を着て、「核兵器廃絶」・「軍拡、人種差別、貧困、環境破壊をなくせ!」というプラカードを持ち寄ります。

連絡先: Michelle Santantonio

michellesantantonio@yahoo.com

アップパーハドソン ピースアクション: ヒロシマを忘れない日 (フェイスブックでのオンラインイベント) 8月6日終日、オルバニー

「ヒロシマを忘れない日」として、ソーシャルディスタンスをとってそれぞれが追悼をします。平和の折り鶴(作り方ビデオつき)、色を塗った平和の鳩やキャンドルで追悼をする様子をフェイスブックに投稿します。8月6日にはフェイスブックページでオンライントークイベントを終日開催。(原爆投下直後の広島を取材した) ジョン・ハーシーの本からの引用を広島原爆投下に関連した動画・スピーチ・写真とともに紹介します。このイベントに対する感想をぜひ共有してください。フェイスブックアカウントを持っていない方には本からの引用とリンクを張り付けてメールにて送ります。

連絡先: Bob Elmendorf poetapoetus@taconic.net

URL: <https://www.facebook.com/UpperHudsonPeaceAction/>

スタテン島 ヒロシマ・ナガサキ 75 年記念式典: 8 月 8 日午後 4 時—7 時 (現地時間)

スタテン島ユニテリアン教会はヒロシマ・ナガサキの原爆投下の様子を写した写真の屋外展示会を開催します。

連絡先: Sally Jones, Peace Action New York State: info@panys.org

ロングアイランド・ヒロシマ・ナガサキ 75 年記念式典: 8 月 6 日午後 7 時半 ニューヨーク州マナセット 主催: シェルターロック・ユニテリアンユニバーサリスト教会(UUCSR)

日本原水協より提供されたヒロシマ・ナガサキの惨状をとらえた写真と、ヒバクシャと日本の平和活動家たちの活動に励まされ、ヒロシマ・ナガサキ 75 年オンライン記念式典(共催: ニューヨー



ク州ピースアクション、8月6日午後7時半)を開催します。イベントリンク: uucsr.org/Hiroshima facebook.com/uucsr もしくは youtube.com/uucsr

日本原水協に感謝の意を表します。集会が安全に開けるようになったら展示会も開催します。核兵器廃絶にむけた原水協の取り組みに連帯し、引き続き活動していきます。核兵器禁止条約の批准を求めます。イベント動画は下記から閲覧可能: uucsr.org/Hiroshima, facebook.com/uucsr and youtube.com/uucsr.

連絡先: Emily Rubino info@panys.org or Margaret Melkonian longislandpeace@gmail.com

核兵器のない未来のための記者会見: ヒロシマから 75 年: 8 月 6 日午後 1 時 ニューヨーク州バッファロー

バッファロー歴史博物館内の日本庭園にてソーシャルディスタンスをとりながら開催。核兵器のない未来を促し、また先住民族の完全な自決権と補償を求める記者会見。政治家なども招待します。これら重要な問題における進展を支援し、世界の先住民の国際デーであり核兵器のない未来をめざす 8 月 9 日にむけて、ぜひマスクを着けて参加してください! 主催: 先住民女性イニチアチブ, Nekanesakt, ニューヨーク州ピースアクション、ニューヨーク西 (WNY) ピースセンター
連絡先: Vicki Ross victoryross9@gmail.com wnypeace.org;

URL: <http://wnypeace.org/wp/event/press-conference-75-years-since-hiroshima-un-declared-indigenous-peoples-day-aug-9/> <https://www.facebook.com/WesternNewYorkPeaceCenter/>

「平和の波」 グリーンスバーク (ペンシルベニア州): 8 月 6 日午後 1 時 (現地時間) by グリーンスバーク パクスクリスティ

ブレスト・サクラメント大聖堂にて 1) 広島原爆投下と同時刻の 8 時 (現地時間) に鐘を鳴らす 2) 2019 年 11 月 24 日のローマ教皇広島・長崎訪問の振り返り 3) 参加者の核兵器廃絶のために活動する誓いの声明というプログラム。

連絡先: Bernard Survil Fr.Survil@EmbraceAllOfLife.us URL: abetterpncbnk.org/

「ヒマワリ・ゴースト・ダンス詩サークル: 核の時代への詩的レスポンス」 (主催: 廃絶 2020/ 宗派をこえたヒロシマ・ナガサキオンライン記念式典), 8 月 6 日午後 7 時、フロリダ州オーランド

世界中から参加者を募り、英語もしくはそれぞれの言語で書かれた詩を詠みます。詩は核兵器の影響や廃絶についての内容です。ただ見ているだけでなく、積極的にイベントに参加しましょう。

連絡先: Nelson Betancourt leafstormpictures@yahoo.com URL: www.olafest.org

灯籠流し: 8 月 9 日カリフォルニア州アーケータ by WILPF フンボルト支部

婦人国際平和自由連盟 (WILPF) のフンボルト支部は、過去 10 年間と同様、今年もカリフォルニア州アーケータの灯籠流しを主催します。このイベントは、ヒロシマ・ナガサキのすべての犠牲者を追悼し、地域の人々にとって平和づくりに参画する機会ともなります。今年はコロナウィルスの影響で、発言者の内容や音楽、象徴的な 3 つの灯籠を流す様子を事前に収録し、8 月 8 日にオンラインで視聴できるようにします。

連絡先: Maggie Shaffer, WILPF Humboldt Branch shafferpost@yahoo.com

URL: <https://arcatalanternfloatingceremony.org>

平和を求める声ーヒロシマ・ナガサキ被爆 75 年記念式典

平和のためのサンルイスオビスポ母親の会 (SLO Mothers for Peace) は、原子炉、核兵器や核のゴミなど様々な核の脅威に晒されているディアブロキャニオンに関わる NGO です。さらに、平和、環境・社会正義、自然エネルギーを促進する活動もしています。毎年、「核の冬」の悲劇的始まりを記念するイベントを 8 月上旬に開いてきました。今年は、実際の集会を開催する代わりに“俳句を詠む”動画にて、活動家・支援者・芸術家・詩人・母親・父親・おばあちゃん・おじいちゃんなど様々な参加者を特集し、彼らの「平和への声」を共有します。動画は SLO Mothers for Peace の SNS で視聴できます: <https://www.hiroshimanagasaki75.org/events> (現地時間 8 月 6 日午後 1 時半ごろ視聴可能) 詳細リンク: mothersforpeace.org
連絡先: Carole Hisasue (carolehisasue@gmail.com)

「ランニング・ガール (走る少女)」 (短編映画) 上映、カリフォルニア州オルバニー郡、by スネーク&ロッドシアター

「ランニング・ガール」は、カリフォルニア州の閉鎖されたナイキ・ミサイル基地の周囲で撮影された 10 分のビデオで、1 人の男性が抱える重荷と家族への影響を描くもの。その男性、私の父は、1950 年代はじめロッキード・ミサイル&スペースで働いていました。核攻撃の影響を研究し、核ミサイル「ポラリス」が都市や民間人への報復攻撃という任務を確実に遂行できるよう電気試験を行っていました。この若者は 1948 年、アメリカによる広島・長崎への原爆投下の影響を研究し、広島の被爆者のことば (台本に氏名掲載) をきっかけに見るようになった夢に取りつかれています。睡眠も仕事も生活も、ヒバクシャの証言に遮られます。これは独演で、2020 年 8 月 6 日の週に撮影されます。

連絡先: Joan Bernier (actor/writer) berniejtree@gmail.com

URL: <https://www.snakeandrodtheatre.org>

婦人国際平和自由連盟 (WILPF) アメリカ支部主導の活動 (2020 年 8 月 6 日~9 日)

WILPF アメリカ支部 website: wilpfus.org **e-mail:** info@wilpfus.org

WILPF ボストン 広島を記念する集い in マサチューセッツ州ニュートン (ボストン)、8 月 6 日午後 5 時 (EST)

ニュートン・センター・コモンで、WILPF ボストン支部とほかの平和グループが集まり、10 人のトーク、音楽、灯籠、核兵器禁止条約署名を行います。平和首長会議メンバーの市長があいさつ、ニュース取材も。署名テーブルでは折り鶴バッジを配ります。

連絡先: eileen4wilpf@gmail.com

WILPF ケープコッド ネバー・アゲイン: マサチューセッツ州ケープコッド、8 月 6 日-9 日、日の出から日没まで

ミッド・ケープとロウアー・ケープの 9 か所で、日本から送られた平和の鶴を物干しロープにつなぎ、メモリアルのことや広島と長崎への原爆投下の説明、「広島・ネバー・アゲイン」と書いた平和の波プラカードと、WILPF プラカードも展示します。来た人には、折り鶴をプレゼント、核兵器廃絶法を支持するよう地元議員へのはたらきかけをお願いします。

連絡先: elenita@meganet.net

WILPF トライアングル（ノースカロライナ）広島原爆追悼記念式典、ノースカロライナ州チャペルヒル／カーボロ、8月6日午前7時半（EDT）

オレンジ郡平和連合は8月6日（木）午前6時半～8時半、広島原爆追悼記念式典を開催、被爆証言、2020年広島市平和宣言の読み上げ、音楽。8時15分には1分間の黙祷。毎年の行事ですが今年はZoomウェビナーで。

連絡先：llewis2001@earthlink.net

WILPF フィラデルフィア大都市圏 平和の鶴リーチ・アウト、ペンシルベニア州フィラデルフィア、8月6日午前11時（EST）

フィラデルフィアおばあちゃん旅団とともに、リッテンハウス・スクエアで鶴の物語と意味を語り、プレゼント。広島、長崎のポスター、ヒバクシャの作品、国連への署名を持ち、地域でも行動します。Facebookのイベントページ：<https://www.facebook.com/events/413239046303275/>

連絡先：Tina Shelton, tinades@verizon.net

WILPF デモイン 日本の平和の鐘つき、アイオワ州デモイン、8月6日午前10時58分（CDT）

少人数でアイオワ州都の近くにある「日本平和と友好の鐘」に献花。平和首長会議副会長のフランク・コウニー デモイン市長あいさつし、広島市平和宣言を読み上げます。5月に私たちが市議会に提案し可決された「瀬戸際を乗り越える」決議の読み上げ、日本の鐘の歴史、被爆75年の意義と、それが核実験再開の動きやより「使いやすい」核兵器開発、医療や福祉の予算に手を付けないまま軍事費増額などの動きの中で切実になっていることなどの発言も。地元のレイジング・グラニーズ（怒れるおばあちゃんたち）の歌。交代で75回鐘をつきます。日本の友人たちから送られた千羽鶴を参加者に1羽ずつプレゼントし、セレモニー終了後、公立図書館前やスカルプチャー・パークで配ります。

連絡先：jancorderman@msn.com

WILPF フレズノ ジェーン・アダムズ像に平和の鶴のガーランド、カリフォルニア州フレズノ、8月6日午前6時（PDT）

カリフォルニア州立大学フレズノ校のピース・ガーデンにあるジェーン・アダムズ像のまわりに集まり、軍縮についての彼女の考えや活動、国連のグローバル停戦の動きについて考えます。日本からの折り鶴を像のまわりに飾り、ジェーンの平和への長年の業績をたたえます。全イベントはFacebookに掲載。

連絡先：Teresa Castillo taca_03@ymail.com or Jean Hays skyhorse3593@sbcglobal.net

WILPF フレズノ 核軍縮3日間断食、カリフォルニア州フレズノ、8月6日午前8時—9日午前11時（PDT）

セントラル・バレーの人権連合といっしょに、最初原爆が投下された日時から2つ目の原爆が投下された日時まで3日間の断食をします。日本を代表し歴史家、政治家、宗教家がフレズノの州立ピース・ガーデンに集い断食の開始と終了を宣言。全イベントはFacebookに掲載。

連絡先：Teresa Castillo taca_03@ymail.com

WILPF カリフォルニア半島／パロ・アルト ドキュメンタリー映画「Hibakusha: Our Life to Live」「Hiroshima: Our Lives to Live」上映（オンライン）、8月3日午後12時—2時（PDT）

製作者の子ども時代の原爆に関する経験の背景を記した映画。アメリカによる広島・長崎への原爆投下の生存者の証言と彼らの平和活動について語っている。zoom ミーティングで行い、製作者のインタビューも。登録：<https://forms.gle/pi5BrPR4NJS5UmlQ6>.
視聴：<https://us02web.zoom.us/j/82253502260> 連絡先：paul@dissentment.com

WILPF カリフォルニア半島／パロ・アルト デイビッド・ロトハウザー製作のドキュメンタリー 2本を無料オンデマンド配信、「Hibakusha: Our Lives to Live (被爆者、我人生)」、「Article 9 Comes to America」(憲法9条がアメリカにやって来る)、8月6日、午後4時—6時(PDT)

説明：国の道具としての戦争を放棄した憲法9条は1946年、日本の戦後憲法に書き込まれた。以来、WILPFをはじめとする国際的な活動家や平和団体はアメリカ憲法に同様の条項の追加を求め運動している。URL: <https://www.youtube.com/ppjvideo>
連絡先：wilpf.peninsula.paloalto@gmail.com

メンローパーク市と WILPF ペンシルベニア 日系アメリカ人の語り部メグミによる佐々木貞子のバーチャル・パフォーマンス、8月6日午後4時(オンライン)、カリフォルニア州メンローパーク

メグミが語るのは、被爆して12歳で亡くなるまでに千羽の鶴を折ったササキサダコ物語。これは、日本と世界の伝統になっている。パフォーマンスの後、メグミが広島と長崎で亡くなった人々への思いを込めて鶴の折り方を披露。

登録：https://zoom.us/webinar/register/WN_qT3VWbdnTRSk-9jw-lAiPQ
連絡先：jnweaver@menlopark.org

WILPF セントルイス 広島・長崎バーチャルメモリアル、ミズーリ州セントルイス、8月8日午後5時

ドキュメンタリー「The beginning of the end of nuclear weapons (核兵器の終わりの始まり)」をzoomで上映。賞を得たこの作品は、核兵器と核兵器禁止条約へのとりくみの記録で、条約採択にかかわった国や団体の活動家のインタビューも。

詳細は www.theendofnuclearweapons.com.

zoom 登録は、件名に“the end of nuclear weapons”と書いて cofrja@gmail.com まで。

WILPF モントレー郡 第75回広島・長崎記念の集いとバーチャル平和の灯籠流し、カリフォルニア州モントレー、8月8日午後7時—9時(PDT)

ジェイ・シンセキ牧師の開会の言葉、ラリー・オダによるササキサダコと千羽鶴の物語、アーリントン・“アーリー”・ラ・ミカの基調講演、キャロル・エリクソンによる平和の灯籠、進行はベバリー・ビーン。パシフィック・グローブのラバーズ・ポイントで、これまでのヒロシマ・長崎記念の集いをビデオで振り返る集い。URL: tinyurl.com/Aug-2020-Remembrance

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_YgvQunFOQdOTzQ6Y6CvqYw

連絡先：Catherine Crockett montereypeaceandjustice@gmail.com

WILPF ボストン チャールズ川で平和の灯籠流し、マサチューセッツ州ウオータータウン、8月9日午後6時

市民、WILPF やほかの団体のメンバーがチャールズ川の波止場でのスピーチ、音楽、詩の朗読後、ウォータータウン・スクエアで歩道集会。平和の灯籠への着火は、波止場近くでカヌーで。ニュース取材あり。

連絡先：eileen4wilpf@gmail.com

2020 年ヒロシマ・ナガサキ追悼行事：8 月 6 日 6:30-7:30pm (EST)：「大声で希望しよう」と「核と戦争にノー.org」主催の Zoom イベント

1960 年代からコネチカット州ハートフォードで開催されてきたこの行事では、現在の核状況についての講演、原爆の実相と環境への影響、倫理問題についてのビデオ上映が行われ、現在米下院にかかっている法案について討論します。

Zoom event:

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_-Ron-yPLQoqNWyo2yFm9pA?fbclid=IwAR13ahC SegfpvUDKcP8kPx7HPCioJVd7HFeGPADsTACAMRXwDUH5rV32n0c URL:

<http://nonukes-nowar.org/> and <http://hopeoutloud.org/>

連絡先：Wayne H. Coste: wayne@HopeOutLoud.org

連帯のための折りづる：8 月 3 日午後 7 時~8 時半 (PST)

8 月 3 日、被爆 75 周年となるこの一週間の中で連帯の折りづるに参加してつるを折りましょう。サン・クウェンティン折り紙教師のジュン・ハマモトが、国外追放に直面する元服役者の生徒たちと討論に加わります。絵はそのうちの一人でコロナウィルス感染から回復途上のチャントン・ブンによるもの。「正義のための折り紙」グループを作ったダニー・トングシーは、サン・クウェンティン刑務所で COVID-19 の危機に面している服役囚の釈放を求めて活動中。7 月 29 日現在で 928 人が要請、すでに 19 人が死亡しています。



<https://capitalandmain.com/demonstrators-call-release-sanquentin-prisoners-amidst-covid-outbreak-0727> RSVP to tsurubayarea@gmail.com to receive the zoom link.

非暴力行動のためのグラウンドゼロセンター：キトサップ・バンゴール海軍基地の軍人に対して違法な命令を拒否し核ミサイル発射を拒否するようよびかけ

8 月 2 日と 10 日付けの Kitsap Sun 紙に全面広告を出し、キトサップ・バンゴール海軍基地の軍人によびかけるアピールを行います。核ミサイル発射指令を拒否するようよびかける内容。支援の署名も次のサイトで集めています。www.gzcenter.org and https://1drv.ms/u/s!Al8QqFnnE036rhRUmQNYI_GuetSx?e=pbs4li. アピールは違法な命令を拒否し、罪のない非戦闘員を殺し、核兵器を使用することを拒否するようよびかけています。

連絡先 : Glen Milner (206) 365-7865; Leonard Eiger (425) 445-2190, outreach@gzcenter.org

国際組織

IPB Press Release: 2020 Seán MacBride Peace Prize Recipients Announced

Black Lives Matter

BLACK LIVES MATTER

For its "leading roles in building resistance to and transforming local policies against systemic police violence and extrajudicial murders of Black people across the United States"

International Signature Campaign In Support of the Appeal of the Hibakusha

International Signature Campaign in Support of the Appeal of the Hibakusha for the Elimination of Nuclear Weapons

For being "one of the largest signature campaigns ever carried out in the world and a powerful popular force manifesting global demands for the complete elimination of nuclear weapons."

国際平和ビューロー(IPB)、2020年ショーン・マクブライド平和賞を「ヒバクシャ国際署名運動」に授与と発表

8月4日、IPBは、2020年ショーン・マクブライド平和賞を、ヒバクシャ国際署名運動とブラック・ライヴズ・マターに授与することを発表。IPBのフィリップ・ジェニングズ共同会長が8月9日に行われる原水爆禁止2020年世界大会ナガサキデー集会で、署名連絡会代表の田中熙巳さんに対して祝辞を述べる予定。

連絡先 : IPB info@ipb-office.berlin

グローバル安全保障研究所：ヒロシマ・ナガサキ75周年の追悼：8月6日、9日

1時間のプレゼンテーションは広島と長崎への原爆投下75周年を記念するとともに、ゴルバチョフ元ソ連大統領、シュルツ元国務長官の功績をたたえる内容となる。スピーカーは以下の加各氏。モハメド・エルバラダイ、ベアトリス・フィン、ジョナサン・グラノフ、ケクサン・バスー（グリーン・ホープ財団会長）

放送時間：8月6日午後9時、8月10日午前4時（日本時間）

登録：<https://www.voices-uri.org/registration> 連絡先：info@gsinstitute.org